

2011年
春号

～ 加戸病院通信 第39号 ～



ハンド イン ハンド
hand in hand



医療法人弘友会 加戸病院

〒795-0052 愛媛県大洲市若宮 548 番地 TEL : 0893-24-5101 FAX : 0893-24-5103

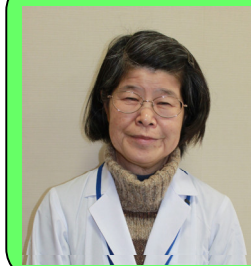
E-mail : koyukai@kato-hp.jp

URL : <http://kato-hp.jp/>

～ドクターシリーズ～

『命のきずな』

老人介護保健施設フレンドのこれから



老人保健施設フレンド
施設長

こんどう いくこ
近藤 郁子

老人介護保健施設に勤務始めて5ヶ月が過ぎました。高齢の方々の人生の縮図に接する緊張の毎日を、「命とは」、「死とは」、「家族とは」、「人間とは」、「日本のあり方は」などと、哲学的な難題や現実問題に悪戦苦闘しています。このような状況なので、去る3月11日の東日本大震災のことは大きな心の痛手となりました。日々“命の絆の大切さ”を考えます。多くの命がこの震災で失われ、次の世に命をつなぐ絆を絶たれた多くの若い命を考えます。地震のような災害がなくても、普段に交通事故や病気で絶たれる命があります。人は他の生物と同じく、親から命の絆を受け取り、次の

世代に引き継ぐ使命があります。生まれて成人になるまで期間の長い人間は、その過程で死に接する機会も多かったのですが、医療の進歩によって成人前に死亡することは殆んどなくなり、平均寿命はどんどん長くなりました。その結果、少なく生んで豊かに過ごす少子化をもたらし、家族の絆がどんどん細くなってきました。そして、家族の死を経験することが少なくなり、人の死を具体的に知ることが難しくなりました。

介護老人保健施設は、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指してリハビリテーションを受ける場所として設定

されました。しかし、老人保健施設ができ始めて20年を経た最近の施設の活動は、様々な機能を要求されるようになりました。家族の介護力の低下から家庭生活への復帰が難しい社会になり、施設に長期に留まらざるを得ない方々があり、人生最期を迎える場所としての機能も求められつつあります。介護老人保健施設での看取りも少しずつ増えています。

命の終わりをどのように迎えるかを考えることは、いかに意味ある生き方をするかを考えることでもあります。人生の最期を意味ある時



として迎えるために、自分の命は長い祖先の命の絆をもらった結果であることに感謝し、次の世代に命の絆を紡いだ証として、その任務に満足して死を迎えることが出来ればこの上ない幸せと思います。毎日、ひとつ幸せを見つけて、1日1回は声を上げて笑うことが出来る楽しいことに出会えるように努めて、命の絆を大切にしていけることが出来るような施設、地域に必要とされる施設を目指してチームワークで取り組んでいきたいと思っています。



＝はじめまして＝

新しく勤務する職員



新入職員
(前列中央右は加戸理事長、左は加戸副理事長)

4月1日より(医)弘友会職員として、10名が加戸病院と老人保健施設フレンドにわかれて勤務することになりました。

新人研修で教わった弘友会の5つの理念を忘れず、精一杯頑張りたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

《栄養だより》

管理栄養士 駿河 モモ

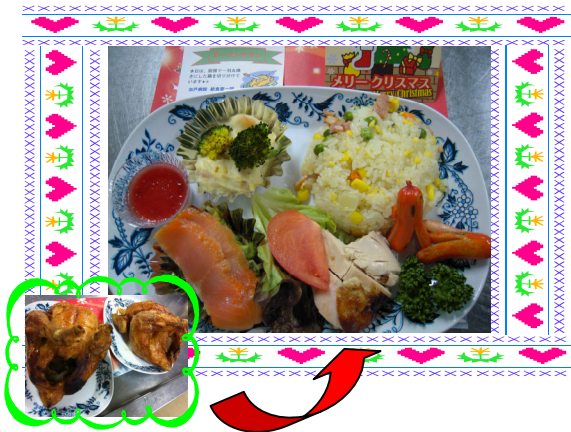
今年度の栄養だよりは給食室から提供している自慢の献立を紹介したいと思います。



平成 22 年 4 月 30 日

お花見弁当

毎年恒例の富士山のつつじを眺めながら食べて頂くお弁当です。
移転を控えているので、今年で大洲では最後のお花見となります。
内子ではどんな風景が見られるでしょうか？



平成 22 年 12 月 25 日

クリスマス

去年のクリスマスは 1 羽の鶏をオーブンで焼いて切り分けて提供しました。
一年の最後の行事食に相応しく豪華に仕上がりました。



平成 22 年 11 月 15 日

リクエスト献立

患者さんからリクエストのあったにぎり寿司と出し巻き卵です。
昨年度はちゃんぽんの提供も行いました。

これからも患者さんに「おいしかったよ」と言ってもらえるような安全でおいしい給食作りに励んでいきたいと思っています。

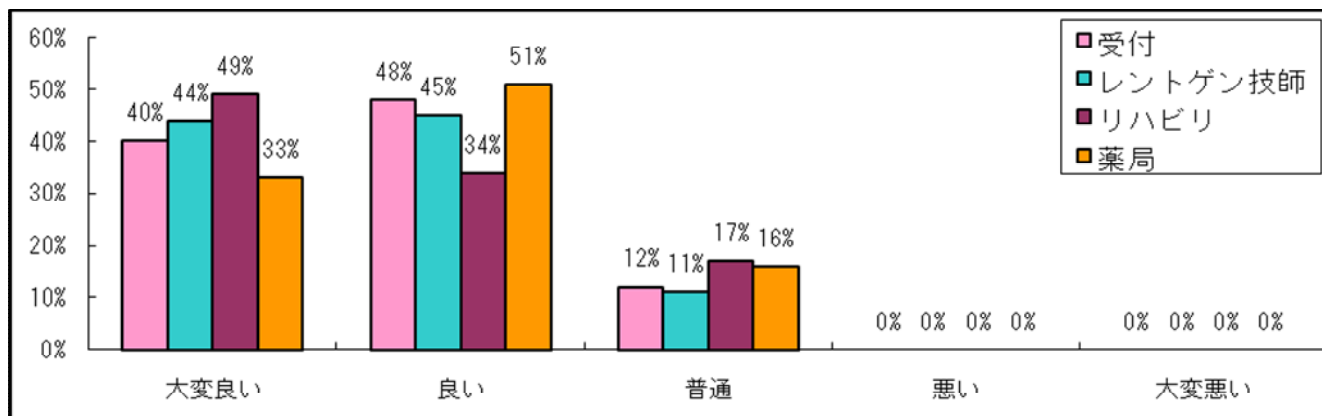
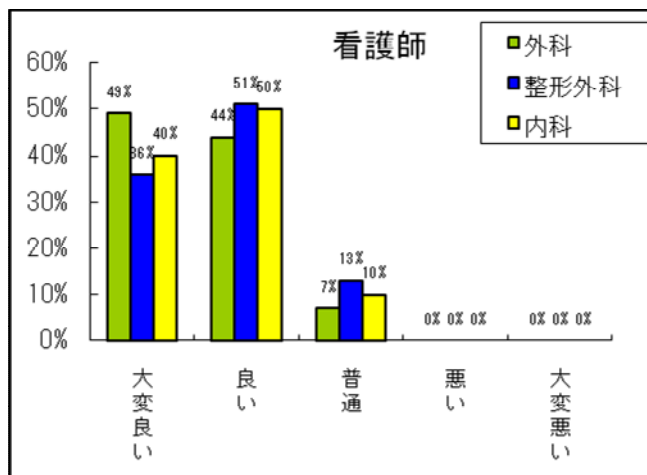
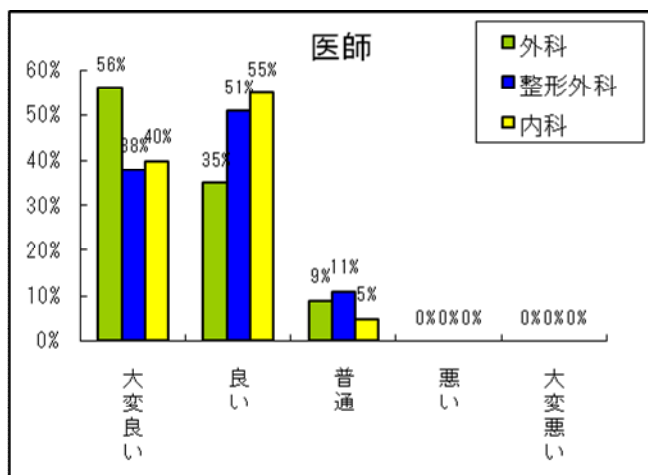
今年度も患者さんに喜んでいただけるような企画を考えております。どうぞご期待下さい！

接遇アンケートの結果報告

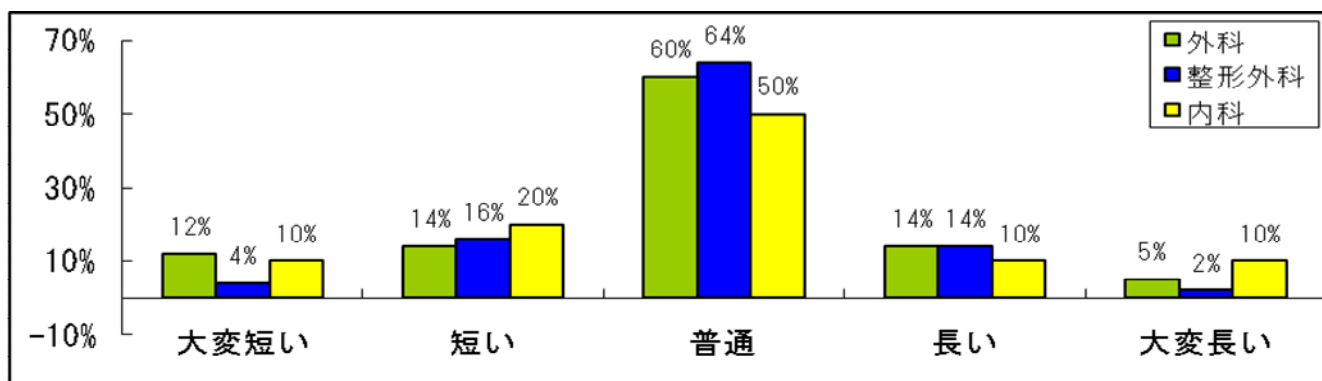
平成23年1月19日から25日までの7日間、患者さんに接遇についてのアンケートを実施し、254名の方からご回答いただきました。

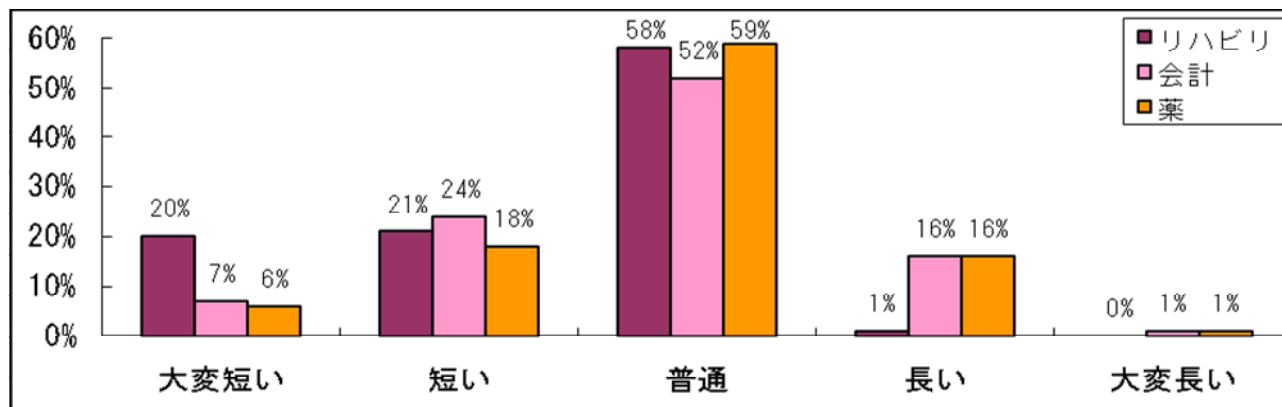
ご協力ありがとうございました。その結果をご報告いたします。また、次ページには、フリーコメント欄のご意見とその改善策を掲載しています。

《態度・言葉遣い》



《待ち時間》





《コメント》

いつ来ても優しくしてもらって嬉しいです。お世話になりました。
 医師、看護師さん皆さん良いです。
 院内の感じは大変よろしいです。

①薬の時間がかかる。

→お待たせし、申しわけございません。

外来調剤を優先して業務を行っておりますが、薬を作った後で再チェックしたり、
 飲み忘れ防止のため一包化したりするケースもあり、時に時間がかかる場合もあるかと思ひます。
 今後、より一層業務の効率化に努めてまいります。長くお待たせしているようでしたら、
 薬局にお声かけください。また、院外処方箋を発行することもできますので、ご希望の方は受付にお申し出ください。

②一人感じが悪い。

→不快な思いをさせて申しわけございません。

スタッフ一同、自分を振り返りながら気をつけます。

③病状内容を話す場合は、特に待合室で問うのはどうか？

内容によっては、人に知られたくないものもあるのではないかと？

プライバシー保護の観点からも一考願ひたい。

→足の悪い患者さんもいらっしゃるの、つい待合室で伺う場合もありますが、
 その都度、ご本人に尋ねてから問診をするように徹底します。

④待合室が外からの風で冷たい。

→冷風が吹き込まないように玄関近くに温風吹き出し口を増設しています。朝そのスイッチを入れ忘れないように注意します。なおひざ掛けも用意していますので受付にお気軽にお申し出ください。

病院の年間行事ご紹介

『ひなまつり』

(3月5日 土曜日)

〔第二病棟ケアワーカー 重松美智子〕

三月五日(土)、移転前最後の行事『ひなまつり』を行いました。

初めに参加者全員で、青い山脈の歌に合わせて準備体操をしました。続いて、職員による出し物で二人羽織を二組に分かれて行いました。私は初めてだったので上手に出来たか分かりませんが、楽しんでもらったのではないかと思います。患者さんも参加していただいても良かったかなと思います。「うれしいひなまつり」「春が来た」「春よ来い」「春の小川」と四曲参加者全員で歌いました。

私自身初めての司会で少し緊張もしましたが、一時間と短い時間の中楽しく無事終了しました。今回は、去年のクリスマス会の反省から、全

員で行事に関わり、役割分担を決めて実行しました。この点は改善できて良かったと感じています。

移転後の行事は未定ですが、皆で関わることを続けて実行したいと思います。



参加者全員での合唱の様子

外来担当医

平成22年11月17日改定

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	小泉		片岡		三好	入田 淡野または谷川
	午後	小泉 14:00~16:30		片岡 14:00~16:00		三好	
外科・整形外科	午前	下田 城戸	下田 柴田	下田 城戸	加戸 城戸	加戸 城戸	(隔週) 加戸または下田 柴田
	午後	下田 14:00~15:00 城戸 16:00~	柴田 14:00~15:00 または 加戸 16:00~ (手術の際は変更)	加戸	下田	加戸 16:00~	
	17:00 ↓ 17:30	城戸	加戸	17:00~22:00 下田または加戸	下田	加戸	

※ 手術などのため、変更になる場合があります。